

## 宇野津焼染付鉢

指定区分	県指定重要文化財(工芸品)
読みかた	うのつやきそめつけばち
所在地	倉敷市
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	高さ9.5cm、口径30.3cm。厚い上薬をかけた菓子鉢風の染付鉢。宇野津焼は江戸時代末期に染付ものを主として備前宇野津(現、倉敷市児島)で焼かれたもので、当地で代々大庄屋をつとめた川井家の6代孫、梶田伝左衛門、7代孫、梶田藤左衛門らによって焼かれた。伝世される作品はほとんど藤左衛門時代のものである。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	